



歯周病への対応のエキスパートを目指す歯科衛生士の必読書。 最新理論でスキルアップ・リスキングをサポート！

日本歯周病学会認定歯科衛生士スキルアップ
 日本歯周病学会 編

A4判/76頁/定価2,750円(本体2,500円+税10%) / 医歯薬出版(2025年3月)

日本歯周病学会は、歯周治療に関する専門的知識と技能を有する歯科衛生士を認定する「認定歯科衛生士制度」を2005年に設け、認定資格取得後もさまざまなことを学べるように、講演会や研修会を各地で開催しています。そして、認定歯科衛生士制度の発足から20年となる2025年、満を持して、学術的な観点から歯科衛生士のスキルアップを目指す本書が刊行されました。今回は、その内容を臨床に携わる歯科衛生士の目線からお伝えします。

スキルアップを目指すとき、おろそかにしてはいけないのが基礎知識です。本書は、歯周病への対応に関する基本事項から成り立つI編と、最新の知見をまとめたII編で構成されています。フルカラーの図表が多く掲載され、参考文献には比較的新しい年代の論文が多いのも特徴的です。

基本事項のI編においては、医療面接やブラークコントロール、PMTCが取り上げられ、それぞれについてその勘所が解説されています。いずれも、歯科予防処置の専門家として患者さんに向き合う歯科衛生士にとって、必要不可欠な項目です。日々の臨床で疑問を感じたときは、それぞれの項目を読み返し自己評価を試みてください。自分ができていることや苦手

なことが明らかになり、自身の改善点をみつけることができるでしょう。

「エキスパートを目指して」と題されたII編には、認定歯科衛生士に欠かせない新たな知見が数多く示されています。歯周病の新分類、化学的プラークコントロール、ブラキシズム、禁煙支援、インプラント、配慮が必要な患者さんへの対応、動機づけといった項目について、執筆者それぞれの見解を学ぶことができます。歯科医師と連携して向き合わなくてはいけない項目がピックアップされているので、本書の内容をふまえて歯科衛生士業務の方向性を確認するのもよいでしょう。

歯科衛生士免許を取得した私たちは、歯科の専門家です。しかし、そこからさらに歯周病のエキスパートになるには、時間をかけて学び、経験を積まなくてはなりません。口腔の健康の担い手として患者さんに寄り添い、知識と技能の研鑽に努めることは貴重な経験となります。その過程をサポートする本書からは、「認定歯科衛生士の資格取得や更新をきっかけに、歯周病のエキスパートになってほしい」というメッセージが読み取れました。

歯周治療の実践には、歯周基本治療からSPTに至るまでを網羅して学ぶことが必要不可欠です。そのためにぜひ本書を活用してください。